

# 23年度

## 浄化槽設備士<実地試験> 解答試案

2013 .1.7

下記の解答は受験者の参考に資するため当社の試案により発表するもので試験実施機関によるものではありません。

### 問題1

#### (1) 浄化槽の設置場所を決定するにあたり、留意すべき事項4つ

- ① 設置場所の広さが、十分確保できるか確認する。  
(設置する地域の立地条件より施工性が制限されるので十分留意する。)
- ② 管渠の勾配は十分とれるか確認する。  
(浄化槽に接続する配管工事は、汚水の排出源から適正な勾配で配管を接続しないと配管の閉塞や悪臭または衛生害虫の発生などが生じるので留意する。)
- ③ 工事用の電力や用水は、確保できるか確認する。  
(設置工事に必要な電力源、電灯源などの電源電力が確保できるか、決定条件の重要な留意事項である。用水の確保も、工事に係わる決定条件の重要な留意事項となる。)
- ④ 環境、衛生に問題はないか確認する。  
(設置区域において、臭気、騒音、水質など環境に支障が発生しないか留意事項となる。)

### 問題2

#### 水替え工事における注意点を挙げると次の各項がある。

- ① 地層の状態、粒度、透水係数、地下水位の状況、周囲の地形など事前に調査する。
- ② 常に天気予報に注意する。
- ③ 動力電源、照明電源に対して電力会社の情報に常に注意し、万一の事故による停電時の対策を予め確立しておく。
- ④ 周囲に地盤沈下が生じることがあるため地盤変動に常に注意して施工する。

### 問題3

確認項目	チェックポイント
(1) 流入管渠	① 管の亀裂、破損、地下水の浸入などがいないかをチェックする。 ② 流入管並びに管渠の途中での勾配が正常になっているかチェックする。
(2) 内部設備	① 汙材や接触材に異常はないかをチェックする。 ② 散気管、逆洗管に異常がないかをチェックする、
(3) ブロウ	① 設備の固定は確保されているかをチェックする。 ② 吐き出し空気量が正常化をチェックする。 ③ 異常な騒音、発熱が発生しないかをチェックする。

## TGK(株)東北技術検定研修協会

e-mail info@tohokugiken.com 〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-26  
TEL 022-738-9312 FAX 022-738-9365